

Watashi Omitama

vol. **2**
2021 Spring



watashi omitama vol.2



小美玉
ダイヤモンド
シティ
見つける。
みがく。
光をあてる。

発行

茨城県小美玉市 企画財政部 企画調整課
〒319-0192 茨城県小美玉市堅倉 835
TEL : 0299-48-1111

茨城 小美玉から始まる、
ワタシの暮らし。

OMITAMA LIFE STYLE NEWS PAPER



OMITAMA CITIZEN ACTION 2020 FOR DIAMOND CITY PROJECT

これまでの取り組み一覧

- 小美玉市シティプロモーション推進懇談会
- 超地元密着デジタルメディア(TOWN JOURNAL OMITAMA)
- 魅力発信冊子
- 魅力発信番組
- 高校生動画プロジェクト(茨城の魅力を探索し発信する高校生コンテスト2020)
- 全国シティセールスデザインコンテスト2019大賞
- #おうちにいよう
- 第1回全国ヨーグルトサミットin小美玉

光をあてたくなる
市民の想い



INTERVIEW — オンライン&現地取材の掛け合わせで 小美玉市民が一つになった。

編集長
小松崎 由美子 さん



「TOWN JOURNAL OMITAMA」(以下:タウンジャーナル)が発足したのは、2020年11月。それまでは新型コロナウイルスの流行により、友人たちもなかなか会えない日々が続いていましたが、タウンジャーナルが始まってから、オンラインで頻りにやり取りをするようになりました。人とコミュニケーションを取れることはやっぱり楽しいと、改めて感じています。そして今まで何気なく接していた「人」・「お店」・「風景」には、キラリと光る理由があることを知りました。日常生活の中には光るものがたくさんあり、それを文章にして伝えることが、大きな喜びになっています。記事に取り上げられたことを喜んでくれる方々もいて、私の生活の活力になっています。

協力:茨城新聞社



副編集長
遠藤 康子 さん



茨城新聞の方から受けた指導を基礎とし、新聞の記事を参考にしながら文章の書き方・伝え方が向上するように工夫しています。小美玉市を構成する「小川」「美野里」「玉里」の良いところを、タウンジャーナルを通して伝えたいと思っています。わたしがタウンジャーナルに参加したのは、2020年11月。当初は初めてのことばかりで戸惑っていましたが、オンラインで密に連絡をとることで、だんだんと慣れることができました。ただ、オンラインでのコミュニケーションは、細かな感情を伝えたり、場の雰囲気を読むことができません。他の人ときちんと意思疎通ができるように、副編集長として努力していきたく思います。

QUESTION

WHY? …… なぜダイヤモンドシティプロジェクトをやっているの?

A おみたまの魅力をも市民と行政とで共創して発信するため!

市民のみなさんが自分の好きな事や得意な事を見つけて、みがき、輝ける場所を小美玉市につくりたいという想いから、市民が主体的に活動できる機会を創出しています。市の取り組みをきっかけに視野が広がったり、同じエリアに住んでいる方と共に夢を描いたり、暮らす場所を舞台に楽しい時間を増やす応援をしたいと考えています。小美玉市民はもちろん、市民じゃなくても小美玉市の取り組みに関わりたい人は WELCOME! です。いろんな立場の人が交じりあうことで少しずつ課題が解決されたり、小美玉に住みたいという人が増えたりすることが、実はダイヤモンドシティプロジェクトの隠れたミッションなんです! さあ、一緒に小美玉市に関わりませんか?



WHO? …… 行政職員だけじゃない?? え、どんな人たちが関わっているの?

A 小学生から大人まで、幅広い年齢の人たちが参加してます!

小美玉市は、出かければ出かけるほど知り合いとツテが増えていく場所です。コミュニケーションを大切にしている人が多く、雑談するのも大好き。小学生の時からみの〜住民劇団「演劇ファミリー Myu」に参加していて、たくさんの人たちと関わってきましたが、タウンジャーナルでの取材を通してわたしのつながりがさらに広がって、次の取材先やインターン先なども見つけることができました。地元への愛着は、小さい頃に地元の魅力を知ることができてこそ生まれるものだと思います。いま小学校や中学校、高校に通っている人たちにはぜひ小美玉の魅力を知って、小美玉を好きになって欲しいです。



大学生/演劇ファミリー Myu
門倉 菜 さん

CASE こんなことに取り組みました!

01 WEB MEDIA

市民が主体的に共同参加できる新しい場

TOWN JOURNAL OMITAMA

小美玉市民が「わたしのおすすめ」を取材し、記事にまとめて発信するプロジェクト。2020年11月に実証実験として、電通デジタル・茨城新聞社のサポートを受けてスタート。記事を書いたことがない人も、小美玉の良いところを発信したいという想いで、楽しみながら試行錯誤しています。記事はエリアごとに集まった有志の老若男女がタウンレポーターとして担当。複数人が関わりながら記事の品質を保つ難しさも経験しつつ、資金面も含めて持続可能な運営に取り組んでいます。



発信の構築! サイトの管理も市民の手で!

02 VIDEO MEDIA

小美玉を配信する番組が登場!

Omitama Shigoto

仕事+私事+志事を理念に、まちのために活動するOmitama Shigotoが、小美玉の今を伝えるインターネット番組をスタート! 定期的にまちの魅力リアルタイムで発信しています。アーカイブもあるので、親しみがあってほっこりする時間をお過ごしください。



楽しみながらコンテンツをつくっちゃえ!

形にするみつける

小美玉からたくさんの情報が発信されています!

03 CREATIVE

みんなの協力あつての受賞!

ダイヤモンドシティ小美玉2020(映像)県特選

小美玉の魅力を伝える市のブランドムービー『ダイヤモンドシティ小美玉2020～見つける。みがく。光をあてる。～』が、「令和2年茨城県広報コンクール」映像部門で特選を受賞! 出演者もクリエイターも「オールおみたま」での快挙。みんなのアイデアで、クリエイティブ力も誇れるまちに!

制作: LINK PRODUCTION & STUDIO



祝! 映像部門No.1

VOICE



Omitama Shigoto 田村 美穂子さん

小美玉のおもしろさ!を楽しみながら発信中

小美玉の魅力を紹介する番組を配信していくなかで、メンバーがやりたいことや紹介したいことを取り上げています。番組では、それぞれの“得意”が発揮され、撮影役、場の盛り上げ役、MC役などを担ってくれています。とにかく、ひとつのことに情熱を傾けて、自分たちで、さまざまなものを作り上げています。番組では、一人ひとりの魅力を活かし、小美玉の旬の話題を取り上げています。私たちの番組を観て「自分もここに出てみたい」「やってみたい」と思ってくれる人が現れることを楽しみにしています。

04 STAY HOME

家でも楽しむきっかけも、市民連携!

小美玉市内でテイクアウト & デリバリーができる飲食店をまとめて紹介した取り組みが広がっています! 「#おみたまもちかえり」「#おみたまご飯」「#茨城エール飯」でSNSに投稿することで、検索しやすくなりました!

おいしい小美玉をコロナ禍でも楽しむ!



#おみたまご飯

小美玉市商工会青年部がFacebookを中心に、飲食店の応援を目的に小美玉のテイクアウト情報を掲載。市内の飲食店が見つかった料理や、利用者がテイクアウトした料理の写真にハッシュタグをつけ、TwitterやInstagramなどのSNSで発信して拡散しています。

#おみたまもちかえり

地域ブログ「いばらじお」が発信している「おみたまもちかえり」。お店の紹介も合わせて、テイクアウト情報を伝えています。「掲載無料、条件なし」と継続的な掲載もしやすい小美玉愛に溢れた取り組み!

05 SCHOOL

高校生の目に映る世界は?

茨城大学人文社会科学部主催「茨城の魅力を探知発信する高校生コンテスト2020」で小美玉を舞台にした高校生の3作品が受賞しました!

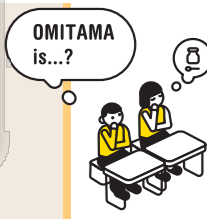
高校生が小美玉の魅力を発信!



▲中央高校が2部門入賞! 小美玉の食材で作ったお弁当カレンダー企画が優秀賞、小美玉の魅力をとり上げた動画が入賞



◀常磐大高校 田村咲星さん・笹目彩遙さんが、アイデア企画作品部門最優秀賞を受賞。高校生の目線で小美玉の魅力を詰め込んだパンフレットを制作!



06 STAY HOME

市民参加型ポスターでうち時間を推進!

「うちにいよう」啓蒙ポスター STAY HOME

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う外出自粛の中で、楽しくうち時間を過ごすための取り組みを小美玉市民と連動して制作。それぞれが伝えたい写真とアイウエオ作文、メッセージを添えたデジタルポスターを発信しました。



会えないときでもクリエイティブを忘れない

お店とのコミュニケーションが楽しいです

個人的に「いばらじお」というブログで茨城県内の飲食店を紹介しています。もとは、本業である飯金の集客のためにブログを始めたのですが、やるうちに楽しくなって、続いています。ブログで紹介したお店の方が記事を読んでくれたり、取り上げてほしいという連絡をいただくのはとてもうれしいです。ここまで長くやってきたブログですが、活動を縮小しようと思っています。その代わりにウェブでの古着販売をスタートさせようと考えていて、現在、絶賛準備中です。いずれSNS(またはInstagram)とショップを連携させて何かできたらいいですね。それ以外にも、小美玉に関われそうな事があれば関わりたいと思っています。

VOICE



いばらじお おみたまもちかえり 企画者 清宮 真さん

学ぶ磨く

ONLINE SEMINAR

2020年はマーケティング視点を学んで、SNSでの発信や自分のまちでの活動に必要な観点を考えた年。3人のゲストを招いて最新の情報を教えてもらいました。オンラインで初めて参加する人には、音声やチャット機能の使い方もレクチャー。初めての人にも優しいオンラインセミナーを開催しました!

おみたまマーケティングサロン

MARKETING SALON



DAY 1

オンライン時代の販売コミュニケーションって何?

インターネットで買い物をしたり、オンライン決済をすることが当たり前になってきた時代。マーケティングのプロである山口さんを招き、メディアによって情報収集の方法がそもそも異なることや、マーケティングをする必要がなぜあるのかを、特性を整理しながら教えていただきました。特にInstagramを活用した販売や広報の事例には、参加者から質問の嵐が!

講師 山口 瞳さん
トレンダーズ株式会社 マーケティングDiv. マネージャー

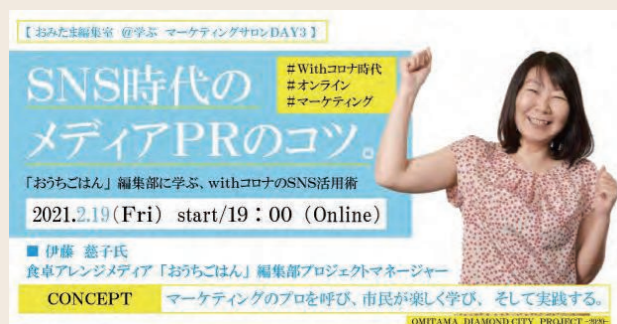


DAY 2

まちのブランディングに自分が関わる

神奈川県三浦市で活動する加形さんを招き、ブランディングについて学びました。カッコいいことを打ち立てるより、小さなことに誇りを持ってファンを作っていくという視点には参加者から共感が多く、盛り上がりました。誰かが形づくったものがブランディングではなく、自分たちの好きやみんなで作る文化が、そのまちのブランディングになることに気づけた一日でした。

講師 加形 拓也さん
株式会社電通デジタル サービスイノベーション事業部 コンサルティングマネージャー・小美玉市シビックマーケティングアドバイザー



DAY 3

SNS時代のメディアPRのコツ

ふるさと納税返礼品「小美玉手箱2020」の開発をご一緒した「おうちごはん」の伊藤さんから、Instagramの活用と、情報の収集の変化についてお話いただきました。検索エンジンで文言を入れて調べるのではなく、Instagramでの「ハッシュタグ検索」により新しい情報を得る方法に、参加者も興味津々。検索する様子を画面共有してもらいながら、イマドキな調べ方を学びました。

講師 伊藤 慈子さん
おうちごはん編集部 プロジェクトマネージャー

これからのSNS活用のPoint公開!

POINT 1

小さく活動!こまめに発信!

活動するからにはちゃんとした投稿をした...という想いは大切だけど、「まずは打ち合わせました!」「今日はおやすみです〜」と日々の進捗を伝えるだけでも活動していることがわかる。無理せず等身大でやってみよう。

POINT 2

複数のSNSを活用!

SNSによって情報収集の方法はさまざま。つつい自分が使いやすいものの更新が多くなりがちですが、届けたい層が使っているSNSにも投稿しよう!自分だったらどう検索するかをイメージして、ハッシュタグをうまく活用しよう!

POINT 3

自分の好きを伝える!

おしゃれに魅せることも大切だけど、まずは自分の想いを伝えること!そこから広がっていくことも多分にあるはず!投稿には、共感を生むような写真やコメントを添えること。シェアするときも、よかつた点を説明する一文があるとより伝わるはず!

VOICE



齋藤 友幸さん

オンラインの学習でイチから自分でできるようになりました!

コロナ禍の影響でオンラインでセミナーを実施することになったと聞いて、最初は不安に感じていました。でもやってみると、動画を何度も見返すことができ、より深く理解できました。セミナーで習った内容をもとに、記事を書いてから公開するまでのほとんどを自分でやることができたので、TOWN JOURNAL OMITAMA(以下:タウンジャーナル)に強い愛着があります。タウンジャーナルでの取材をきっかけに、いろいろな場所に足を延ばすようにもなりました。取材に関わりも増えて、おもしろい体験をしています。

小美玉が
気になったら
このサイト!

小美玉移住定住特設サイト



おみたまを知ってもらおう

初の
企業コラボ!

ふるさと納税 返礼品魅力開発

“おみたま暮らし”



小美玉に住みたい人を応援する移住定住の特設WEBサイトができました!暮らしに必要な情報から、小美玉の魅力を定期発信するコーナーもあります。小美玉の取り組みをオフィシャルに発信していきますので、是非ご覧ください!

URL
<http://iju.city.omitama.lg.jp/>



“小美玉手箱2020”

幸福感のある朝を、小美玉から届けたい!そんな思いから、ダイヤモンドシティ・プロジェクトをきっかけに、タカノフーズ(株)とイセファーム(株)のコラボレーションが実現。WEBマガジン「おうちごはん」との開発PR協力もあり、「小美玉手箱2020」のネーミングで一つの箱に、納豆と卵とお米が入っているスペシャルなふるさと納税返礼品が誕生!“小美玉の美味しいおうち時間セット”をテーマに、パッケージやメッセージもひと工夫しています。小美玉市外に住むご友人が小美玉市のふるさと納税をする際は、ぜひ教えてみてください。



URL
<https://www.furusato-tax.jp/city/product/08236>



デザインに
小美玉の想いを
詰めて。



全国シティセールスデザインコンテスト2019大賞 受賞

全国の自治体・地域団体が応募するコンテストにダイヤモンドシティ小美玉のデザインを出品したところ、大賞を受賞!これを記念して、ダイヤモンドシティ小美玉のロゴがあしらわれたネームストラップの販売を開始しました。ロゴが紺色の越前織の上で輝いています。

VOICE



大学生/
演劇ファミリー Myu
郡司 千尋さん

若者の「やりたい」を温かく受け入れてくれる小美玉の人たち

小美玉の素敵なところは、若者の「やりたい」や「これをやったらどうか」を、大人たちが対等に聞いてくれるところ。わたし自身もみの〜れ住民劇団「演劇ファミリー Myu」のInstagramを運用したらどうかと提案をしたところ、すぐに「やってみる?」と受け入れてもらえ、今は写真の選定から公開まで、全面的に任せてもらっています。わたしみたいに「何かをやってみたい」と思っている人や、「これから小美玉市で活動したい」と思っている人は、まずは小美玉市民と一緒に自分が好きなことをやってみたらいいと思います。そこで得られた共感や応援が、自信と次へのステップにつながるはず。